

平成 27 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 BEENOS 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
 (コード番号 3328 東証マザーズ)
 問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二
 電 話 03-5739-3350

業績予想及び配当予想の修正（初配）に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 16 日付け「営業投資有価証券の売却益の計上ならびに特別損失（減損損失）の計上に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」において発表しました「平成 27 年 9 月期連結業績予想（通期）」及び「平成 27 年 9 月期第 3 四半期決算短信」において未定としておりました「平成 27 年 9 月期の配当予想（期末）」を修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 業績予想の修正（通期 平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,400	百万円 800	百万円 770	百万円 550	円 銭 45.29
今回修正予想(B)	17,000	1,060	1,040	870	71.50
増減額(B-A)	△400	260	270	320	—
増減率(%)	△2.3%	32.5%	35.1%	58.2%	—
(ご参考)前期連結実績 (平成 26 年 9 月期)	12,599	△358	△367	△450	△37.82

(2) 修正の理由

第 3 四半期及び第 4 四半期においては、平成 27 年 4 月に計上した営業投資有価証券の売却益を梃に、主に来期以降の収益につながる次の先行投資を行って参りました。

- ①E コマース事業のクロスボーダー部門における、海外居住者向けの代理購入サービスの提携先増加に対応した人員（エンジニア）増強やシステム投資、利用者増加のための海外でのプロモーション活動等
- ②E コマース事業のバリューサイクル部門における、宅配買取りサービスの認知度向上のためのテレビCMを中心とした積極的な広告宣伝費の投下

そのため、第3四半期会計期間においては、営業投資有価証券の売却益を除いて実質営業赤字となっておりましたが、第4四半期会計期間においては、想定よりも効率的な費用の先行投資が進められていることから、営業利益、経常利益、当期純利益が業績予想を上回る見込です。

2. 配当予想の修正（初配）について

(1) 配当予想の修正（初配）の内容

	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成27年7月23日)	—	未定	未定
今回修正予想	—	13円00銭	13円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (平成26年9月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭
配当原資	—	資本剰余金	資本剰余金

※ 純資産減少割合につきましては現在未定であり、確定次第お知らせいたします。

(2) 修正の理由

当社は、配当を通じた株主への利益還元を重要な経営課題として位置づけており、事業基盤の拡大と財務基盤の充実を進め、経営成績を勘案しながら、配当による利益還元を実現する方針として参りました。

しかしながら、これまでは内部留保充実の優先や経営成績の状況から配当を実施することができませんでした。

当期は、Eコマース事業において全部門で黒字化する見込であることに加え、インキュベーション事業においても営業投資有価証券の売却益を計上するなど、今後の成長のための財務基盤の充実と、業績に応じた配当を実施できる経営基盤が構築されつつあると判断し、その他資本剰余金を原資として、株主の皆様へ利益還元を実施することといたしました。

なお、本件につきましては平成27年12月開催予定の第16期定時株主総会に付議する予定であります。

以上